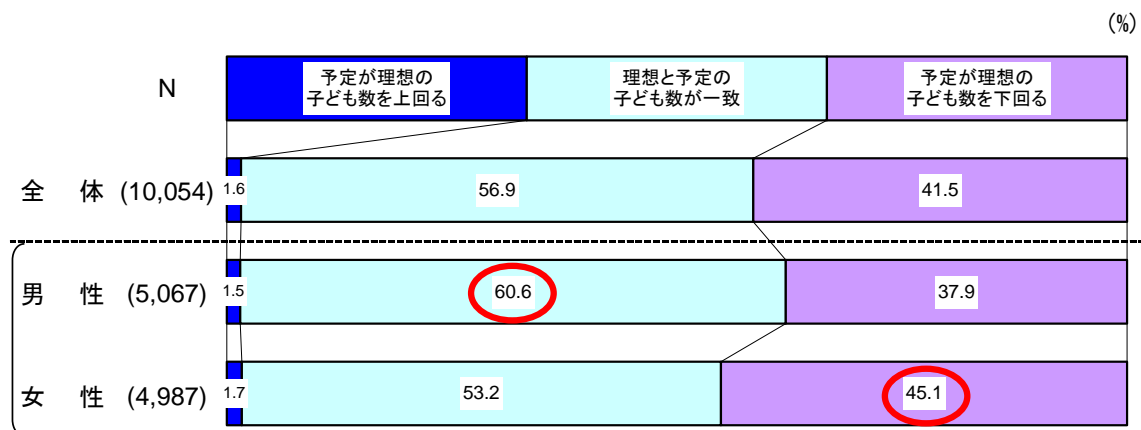


理想の子ども数と予定の子ども数の回答について、その差の有無を示し、理想どおりの子ども数を実際に持つ予定かどうかをみた（図表 1-1-7）。

「理想と予定の子ども数が一致」している回答者は 56.9%となっている。一方、ほぼ4割（41.5%）は「予定が理想の子ども数を下回って」いる。

男女別にみると、「理想と予定の子ども数が一致」している回答者（男性 60.6%、女性 53.2%）は女性より男性に多く、女性では 45.1%が、「予定が理想の子ども数を下回って」いる。

図表 1-1-7 理想と予定の子ども数の差の有無（男女別）



調査手法や対象者条件は異なるが、参考として国立社会保障・人口問題研究所の「第13回出生動向基本調査」の結果をみると、回答率の差はあるものの「理想と予定の子ども数が一致」する者が最も多いという傾向は、同様となっている。

参考：第13回出生動向基本調査結果

(%)

	n	予定が理想の子ども数を上回る	理想と予定の子ども数が一致	予定が理想の子ども数を下回る
平成17年第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査：夫婦調査	(5,522)	4.0	60.7	35.3

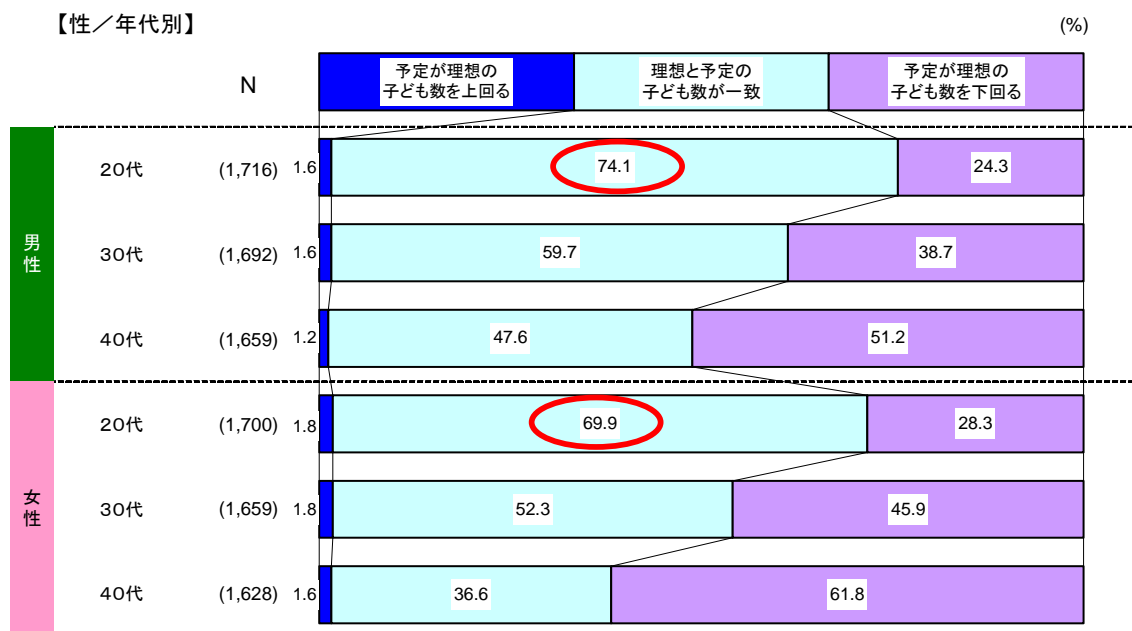
(%)

	n	予定が理想の子ども数を上回る	理想と予定の子ども数が一致	予定が理想の子ども数を下回る
今回の調査結果：有配偶 女性	(3,227)	2.2	53.6	44.2

国立社会保障・人口問題研究所「平成17年第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査：夫婦調査」
 調査手法：層化無作為抽出 配票自計、密封回収方式
 調査実施：平成17年6月
 調査対象：全国の妻の年齢50歳未満の夫婦（回答者は妻）
 調査集計対象：初婚どうしの夫婦

性・年代別にみると、男女とも20代では「理想と予定の子ども数が一致」(男性74.1%、女性69.9%)が多数を占めているが、年代が高くなるほど「予定が理想の子ども数を下回る」という回答者が多くなり、40代になると男女ともに「予定が理想の子ども数を下回る」(同51.2%、61.8%)という回答者が最も多くなっている(図表1-1-8)。

図表 1-1-8 理想と予定の子ども数の差の有無(男女別)



性・就労状況別にみると、男女とも 20 代前半で未婚者が多数を占める学生では「理想と予定の子ども数が一致」している回答者（男性 77.4%、女性 78.5%）が 8 割弱と多数を占めるが、他の職業では、「理想と予定の子ども数が一致」する層は、学生に比べて小さくなっている（図表 1-1-9）。

特に、自営業等の有職者の女性では、「理想と予定の子ども数が一致」する層は 4 割弱（38.7%）と他の層に比べて小さい。

図表 1-1-9 理想と予定の子ども数の差の有無（性・就労状況別）

